

# 世界遺産論

## 第10講 海外の世界文化遺産 (ヨーロッパ)

瀬戸 敦子(岐阜女子大学)

# 第10講 海外の文化遺産 (ヨーロッパ)

## 【目的】

- 世界遺産検定3級合格に必要なヨーロッパ建築様式の歴史の移り変わりとその特徴を理解する
- 「パリのセーヌ河岸」、「フィレンツェの歴史地区」のOUVについて理解する

## 【学修到達目標】

- ヨーロッパの建築様式についてその特徴を説明できる
- 「パリのセーヌ河岸」の概要と登録内容について説明できる
- 「フィレンツェの歴史地区」の概要と登録内容について説明できる

# 第10講 海外の文化遺産（ヨーロッパ）

テキスト 第5章（p.111～124）

- 5-1 西ヨーロッパ世界の成立
  - パリのセーヌ河岸**
  - ヴァチカン市国
- 5-2 商業と都市
  - ヴェネツィアとその潟
  - ハンザ都市リューベック
- 5-3 レコンキスタと十字軍
  - グラナダのアルハンブラ宮殿
  - ヘネラリーフェ離宮、アルバイシン地区
  - カステル・デル・モンテ
- 5-4 宗教分裂、宗教改革
  - アヴィニヨンの歴史地区：教皇庁宮殿、司教の建造物群、アヴィニヨンの橋
  - アイスレーベンとヴィッテンベルクのルター記念建造物群
- 5-5 ルネサンス
  - フィレンツェの歴史地区**
- 5-6 海洋都市国家と大航海時代
  - ピサのドウオーモ広場
  - メキシコ・シティの歴史地区とソチミルコ
- 5-7 東ヨーロッパ世界
  - モスクワのクレムリンと赤の広場

## ヨーロッパの建築様式

### 【世界遺産検定3級】

建築様式そのものが問題にはならない。

ヨーロッパの世界遺産（文化遺産）は、歴史的な建造物、宗教建築などが多い。そのため、一つ一つの遺産の特徴を認識する上では、建築様式を知っておく必要がある。

### 【世界遺産検定2級】

建築様式そのものが問題になる。

+様式を代表とする世界遺産（300件）が問われる。

# 第10講 海外の文化遺産（ヨーロッパ）

## 【世界遺産検定2級】

例) バロック様式の説明として、正しいものはどれか。

- ①過激な装飾や凹凸の協調を特徴とする
- ②幾何学図形を基調としたバランスの取れた造形を特徴とする
- ③石造りの厚い壁や半円アーチ構造の天井などを特徴とする
- ④天井の高さと光を追求している

2017年9月過去問

こたえ ①（2点）

バロック様式の特徴をもつ世界遺産として、正しいものはどれか。

（写真をみながら答える問題）

- ①サン・ヴィターレ聖堂（ラヴェンナの初期キリスト教建造物群）
- ②ヴェルツブルクの司教館
- ③ノートル・ダム大聖堂（パリのセーヌ河岸）
- ④ウェストミンスター宮殿（ウェストミンスター宮殿、ウェストミンスター・アビーとセント・マーガレット教会）

こたえ ②（2点）

# 第10講 海外の文化遺産（ヨーロッパ）

## パリのセーヌ河岸（フランス・1991年登録）

登録基準 (1) (2) (4)



エッフェル塔

パリのセーヌ河にある舟の形をしたシテ島を中心とした「パリのセーヌ河岸」は、1991年世界文化遺産に登録された。構成資産には、**エッフェル塔**や**ノートルダム大聖堂**といったパリのシンボルをはじめ、礼拝堂サント・シャペル、アンヴァリッドなど多くの歴史的建造物が立ち並んでいる。日本の世界遺産「古都京都の文化財」同様、フランスの政治・文化の中心であったが、京都は個別の物件で登録されているが、パリは**街並みを含めたエリア**で登録されている。

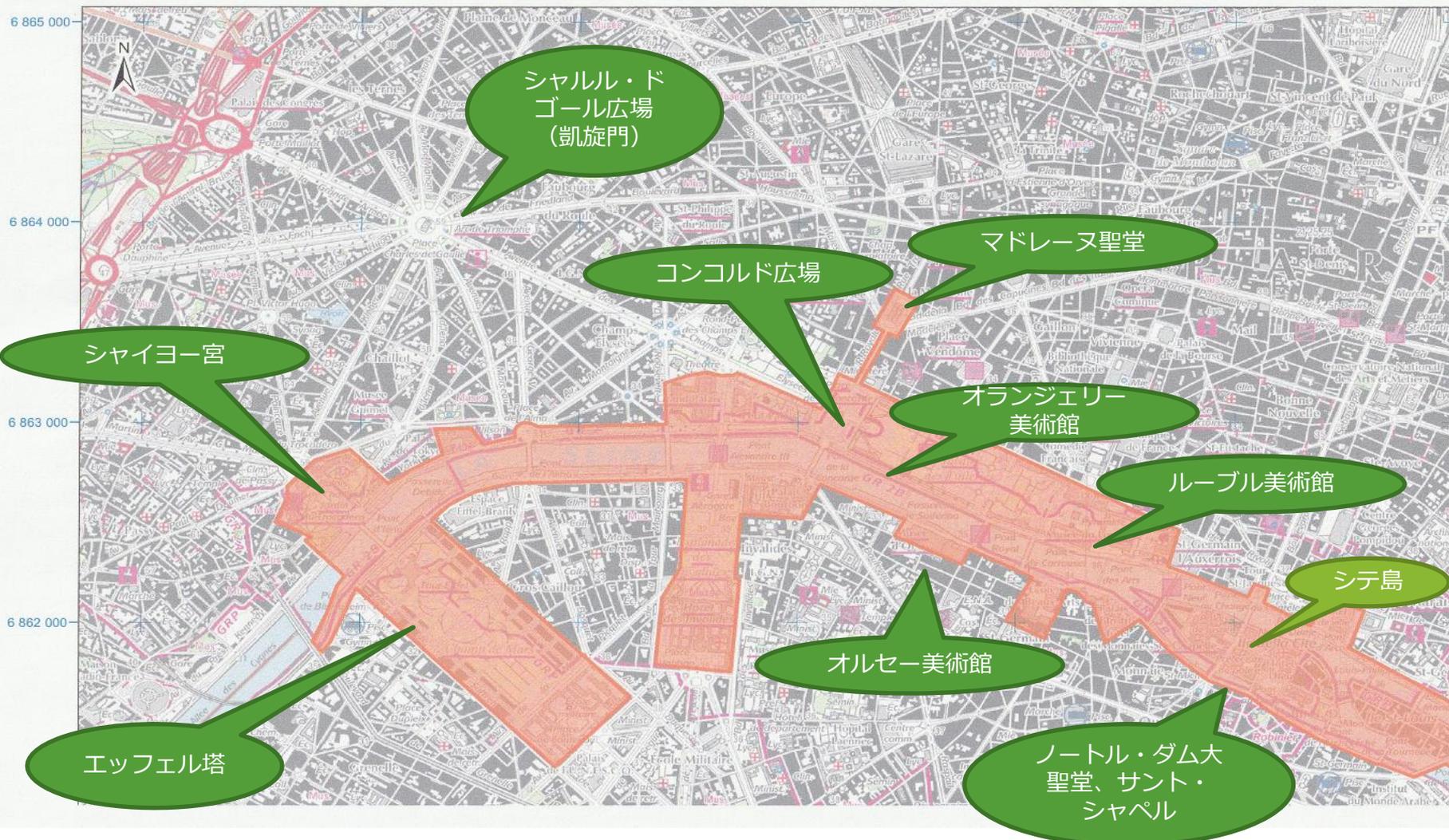


セーヌ川にある舟の形をした**シテ島**。パリの歴史はシテ島から始まった



ノートルダム大聖堂

## 600 - Paris, rives de la Seine : délimitation du bien lors de son inscription s



## パリのセーヌ河岸

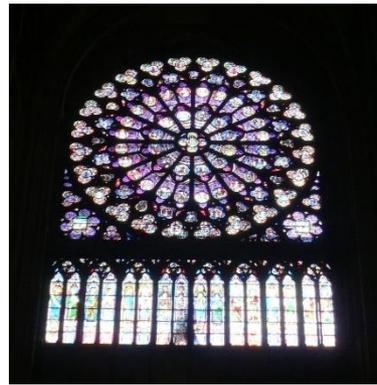
### ノートル・ダム大聖堂

#### ゴシック様式の傑作

高い天井と大きな窓で明るさを追求。面よりも線を強調した鳥かごのようなフォルムが特徴。ステンドグラスを使用し建物全体で美しく偉大な神の世界を表している。



西側南の塔にある13トンの巨大な鐘は、17世紀に市民の女性が宝石や金銀を寄進して造られた



バラ窓と呼ばれるステンドグラス。字が読めない人のための聖書の絵解きだった

ノートルダム大聖堂のノートルダムとは、「我らが貴婦人」すなわち聖母マリアのことをいう。1163年着工し、1345年に完成した。（12世紀半ば、パリが西ヨーロッパ文化の中心地になると、シテ島の聖堂を王都にふさわしい大聖堂にするため建築が始まった）建築学的にも価値のあるこの大聖堂は、王家の礼拝式や結婚式、感謝祭などの国の重要な式典が執り行われている。

## パリのセーヌ河岸

### エッフェル塔



「平和の壁」世界49か国の言葉で「平和」が描かれる



1889年パリ万博のために、20年の期限付きで建てられた。

設計者は、鉄骨の橋の専門家として知られる技師、**ギュスタヴ・エッフェル**（1832-1923）である。1887年1月に着工し、1889年3月に完成した。ギュスタヴ・エッフェルは、アメリカの世界遺産「自由の女神像」の骨組みを造ったことでも有名である。

設計案が発表された直後から、多くの文化人や芸術家から建築に異を唱える論争が勃発

石造りの歴史的建造物がパリのシンボル  
（街並み）



逆風を受けながらも、工事は進み着工から約2年2か月という短い間でエッフェル塔は完成した。高さ300mは、当時世界一で、フランスの興行と建築技術の快挙とされ、パリ万博中のエッフェル塔の入場者数は195万3000人を超え、興行的にも大成功を収めた。

# 第10講 海外の文化遺産（ヨーロッパ）

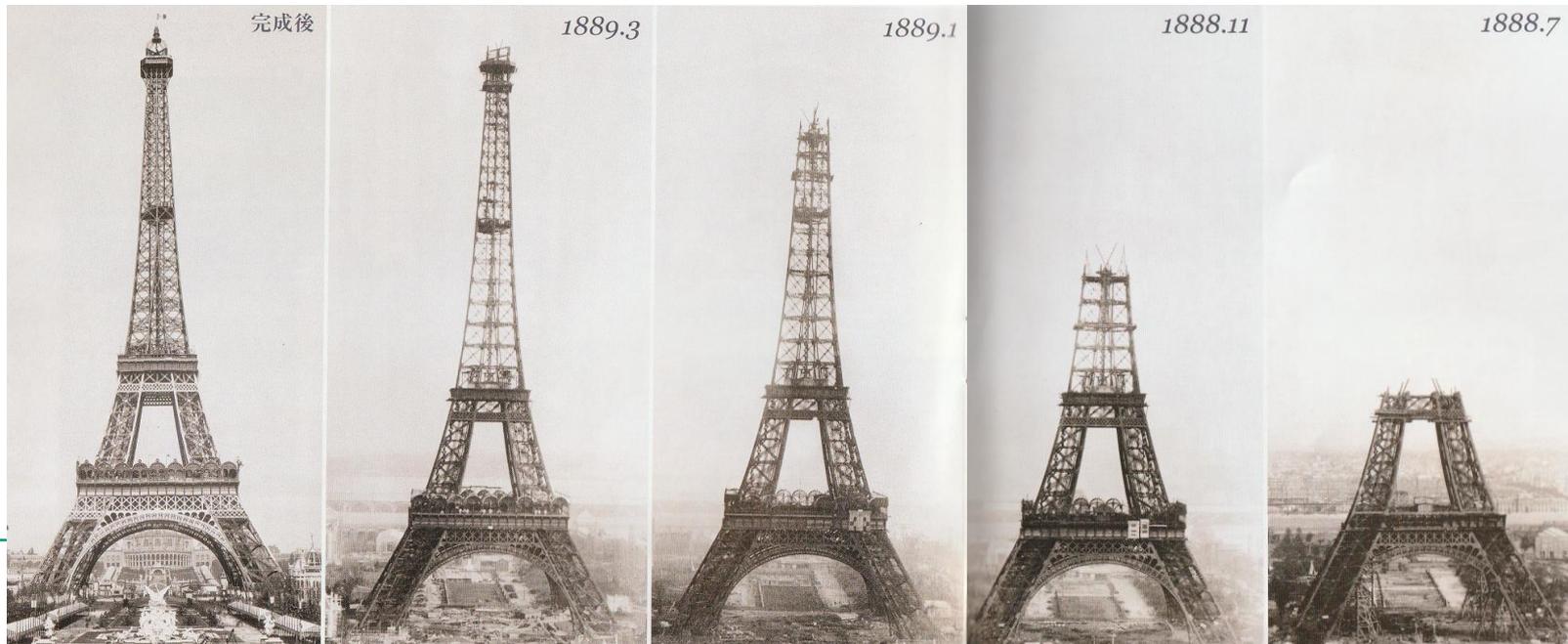
1909年、20年という期間限定付きの建築物であったエッフェル塔は・・・

パリ市議会で、予定通りエッフェル塔の解体が決定

当時発明されたばかりの無線通信アンテナとして塔が有効活用できることが発覚！急遽、取り壊しが中断。

- 1917年 世界初の大西洋横断無線通話に成功
- 1921年 ラジオ放送が開始
- 1957年 テレビ放送用のアンテナが設置（最上部の高さは320.75mへ）

エッフェル塔は必要不可欠に！



## フィレンツェの歴史地区（イタリア・1982年登録）

### 登録基準

(1) (2) (3) (4) (6)

イタリアの古都フィレンツェは、**ルネサンスの中心地**として知られている。**サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂**やヴェッキオ宮といった数多くの歴史的建造物、ウフィツィ美術館に貯蔵されている「ヴィーナスの誕生」、「受胎告知」といった絵画や彫刻も数多く保存・保管されており、街全体を通してルネサンスの芸術・文化を感じることが出来る。



ヴィーナスの誕生  
サンドロ・ボッティチェリ、ウフィツィ美術館



ヴェッキオ橋（「古い」を意味）



1982年



COMUNE DI FIRENZE

LEGENDA

 Perimetro Sito UNESCO = Ha 505

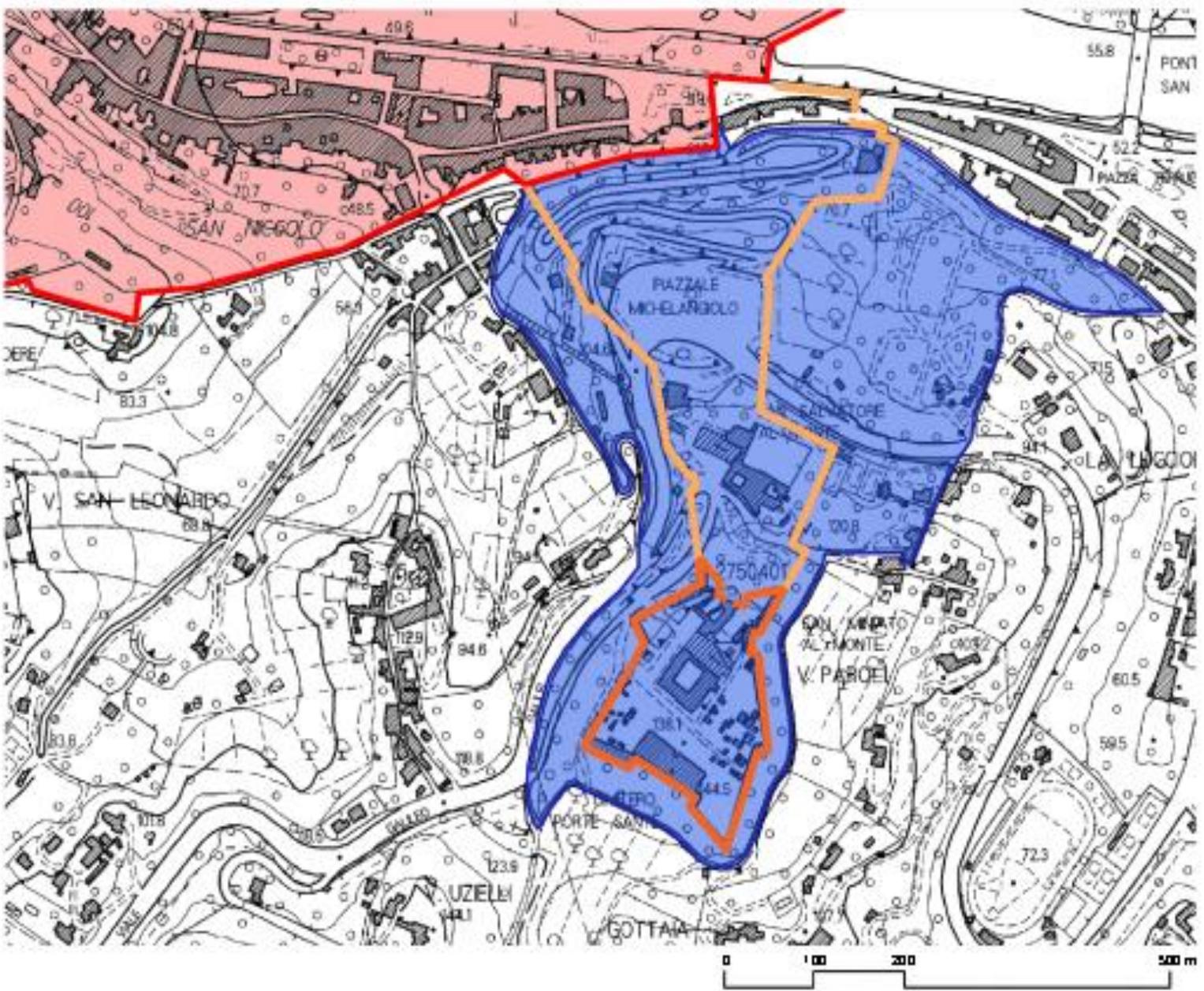
 Fabbricati del Centro Storico

Localizzazione del Comune:  
Latitudine 43° 46' Nord  
Longitudine 11° 15' Est

SCALA 1:15.000

Nota: Dati rilevati dal Piano Regolatore vigente

2021年



# サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂

1296年着工 1887年完成

## ルネサンス様式

古代ローマやギリシャ建築をモチーフにしたもの。円形、正方形、正多角形などの幾何学形が基調。人文主義的な理想を追求した左右対称の造形もみられる。



ルネサンスの最高傑作、花の大聖堂と呼ばれるこの大聖堂の最も注目すべき点は、**大円蓋**（クーポラ）で、手掛けたのは建築家**フィリッポ・ブルネッレスキ**であった。これまでの木造アーチ型の型枠を組み、そこに石材を積んで固めていくのが主流であったが、直径約42m、高さ100mを超えるこの円蓋製作に合わせた巨大な型枠と足場を組むのは不可能と言われていた。フィリッポ・ブルネッレスキは、足場を造らず大円蓋を二重構造にし、徐々に円蓋を上へ上へ築いていくという工法で、二重の円蓋は互いに支え合い重量を分散するので、屋根の重みで建物が崩れる危険もなく、2つの円蓋の間には人が作業する空間も確保できるという画期的な建築技法であった。

サ  
加え、またこの門扉である。この制作

講の末、ギベルテ、東の門扉も完  
年、東の門扉も完  
エロは、それを二  
賛し、東の門扉の  
の失望は深く、彫  
念して、これを機  
になる。彼が大円  
制したのは、洗禮  
のことだった。そ  
ギベルティを抑え

(1) ワークブック 第5章「ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代」